

ペナン島は南北約24Km・東西15Km のインド洋に浮かぶ大きな島です。ペナンはマレー語でヤシ科の植物であるビンロウジュという意味で、マレーシア老人が好んで口にするフルーツの一つとされています。人口約70万人で過半数が華人が占めており、マレーシアの中でも最も華人が多い所です。また、ペナン島はイギリス人がマレーシアに最初に入植した地で、東西貿易の中継地の自由港として発展してきました。イギリス統治時代からの歴史的遺産が数多く残り、2008年にジョージタウンが世界遺産として登録されました。

☆アクセス方法

■クアラルンプールから

- 《飛行機》クアラルンプールから約1時間。
ペナン空港からジョージタウンへはタクシーで約40分。
- 《バス》クアラルンプールから約5時間～6時間。



コーンウォリス要塞(Fort Cornwallis)

1786年、キャプテン・フランシス・ライトが初めて上陸した場所に建造された要塞。[コーンウォリス]とは当時の東インド会社提督の名前。



シティーホール(City Hall)

大英帝国時代の全盛期を彷彿させる建築物。美しい白亜の建物はジョージタウンのシンボルの存在。現在は市議会場として使われています。



セントジョージ教会(St.George Church)

白亜の造りが美しい東南アジア最古の英国教会。大理石の床と高い尖塔をもつ白亜の建物で、広い芝生と樹齢を経た木々の美しさをより引き立てています。



クー・コンシー (Khuong Kongsi)

ペナン島一豪華な中国寺院。中国南部から渡ってきたクー氏が子孫の為に建てた霊廟です。1898年に建立されましたが火災に遭い、現在のものは1950年に再建されたものです。



ブキメラ・レイクタウン(Bukit Melah Lake Towan)

ペラ州にあるレジャー施設(ブキツ・メラ・レイクタウン)には保護されたオラウータンを森に帰す為のリハビリ施設「オラウータン島」があります。本来ボルネオ島にしか生息していないオラウータンですが、この周辺の気候がボルネオ島に似ている事もあり、保護されたオラウータンを移しリハビリ活動をしています。